



2 エッセイ／“おかね”を語る  
旅と紙幣 小説家 高山羽根子



4 インタビュー／扉を開く  
天野安喜子 宗家花火鍵屋15代目・国際柔道連盟審判員  
五輪の柔道を裁く花火師



9 地域の底力——東京都大島町  
三原山とともに生きあらたな前進を図る東京都大島町

16 対談／守・破・創  
いとうまい子 女優・研究者  
安達誠司 日本銀行政策委員会 審議委員  
大学院での学び直しで見つけた抗老化研究という「壮大な趣味」

20 歴代日本銀行総裁小史～Short History～ 第5回  
第六代総裁 松尾臣善

22 FOCUS → BOJ 36 日本銀行調査統計局 経済調査課経済分析グループの仕事  
マクロ経済分析で脚光を浴びるビッグデータの可能性

日本銀行のレポートから

26 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2021年4月—

28 「金融システムレポート」—2021年4月—

32 トピックス

「金融庁・日本銀行の更なる連携強化に向けた取り組み」の公表についてほか



35 AIR MAIL from New York  
変化するニューヨークの摩天楼

※取材は感染対策を徹底して実施しています。  
本誌は6月3日(木)までの情報をもとに掲載しています。

表紙のことは  
日本銀行京都支店は、明治二十七年（一八九四）、日本銀行の五番目の地方拠点として、上京区（現・中京区）にて京都出張所として業務を開始しました。  
出張所開設当時の京都は、発電、電気鉄道、水道の三大事業が興るなど経済が近代化に向かって歩み始めた時期でした。こうした動きに伴い、資金の動きが活発化したため、京都出張所が開設されることになりました。実際、出張所ながら、支店と遜色ない機能や業務量を誇っていました。  
表紙の初代店舗は、東洞院通御池上ルにあつた民家を買って改造したもので、当時の職員は和服に角帯姿で陶器の弁当箱を持って通勤したと言われています。  
当初から仮店舗という位置付けだった初代店舗は、二代目店舗が完成したことにより、一二年でその役目を終えました。こうして、二代目店舗、そして三代目の現店舗へと引き継がれた京都支店は、一貫して京都の町の歩みを見守り続けています。



表紙・画 北村公司